

今すぐ「原発の廃止のために…」

## 平和のための脱核部会

ネットワークにはいろいろ！

お名前：

ご住所（ニュースレターを送ります）

E-mail（メールマガジン用）

でんわ：

おしごと / 学校 / 教会名など

点線で切りはなして

こちらに送ってください。

日本カトリック正義と平和協議会

Fax 03-5632-7920

[jcc.jp@cbcj.catholic.jp](mailto:jcc.jp@cbcj.catholic.jp)

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10

## 平和のための脱核部会

ネットワークは今すぐ「原発の廃止のために…」

★脱原発活動のために各地ではたらくカトリック信徒とつながろう

★放射能の危険や原発についてのさまざまな情報を分かち合おう

★各地の再稼働反対、建設反対集会、すわりこみなどの行動に参加しよう

★各地の脱原発・再稼働反対署名運動に協力しよう

★福島原発事故被災者の抱える困難に耳を傾け、よりそおう

部会は今すぐ「原発の廃止のために…」

★声明文の発表、申し入れなど、関係機関に働きかけます

★脱原発のために韓国の教会やほかの宗教のひとびとつながります

★ネットワークをつなぎます

★年に1回、総会（セミナー、シンポジウム、祈りのつどいなど）をひらきます

★半年に1度、ニュースレターを発行します

★脱原発情報をメールやFacebookで配信します

部会のこうせい

a. 各地で脱原発のためにはたらく連絡委員

b. 会員

c. 平和のための脱核部会（事務局）

★ネットワーク活動の費用は会員のみなさまからのカンパによってまかさないます

カンパのご協力をおねがいいたします

ゆうちょお振込 00190-8-100347

カトリック正義と平和協議会

「平和のための脱核部会」と明記ください。

今すぐ「原発の廃止を！」

だっかく

## 平和のための脱核部会



日本カトリック正義と平和協議会

Fax 03-5632-7920

[jcc.jp@cbcj.catholic.jp](mailto:jcc.jp@cbcj.catholic.jp)

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10

今すぐ「原発の廃止を！  
だっかく  
平和のための脱核部会  
はめざします

日本カトリック正義と平和協議会は、このたび「平和のための脱核部会」を設立することになりました。2011年11月に発表された日本カトリック司教協議会による『いますぐ原発の廃止を～福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして～』メッセージの具体化を一步前進させるためです。「脱核」としたのは、原発も核兵器も、じつは基本は同じであることをわすれないためです。

多くのカトリック者は、同メッセージから日本の司教団の脱原発への明確な意志を受けとったことでしょうか、この間、いかにこれをカトリック教会として実現していくかについてのオリエンテーションがやや乏しく、そのためこの問題に関心を寄せる人々も、それぞれ自分の場で個々ばらばらに活動するほかないという状況が続いてきたと思います。

大震災と原発事故から3年半が過ぎ、緊急の物的支援を必要とする時期から、今はむしろ、被災した方々の深く傷ついた心へのよりそいなど、宗教がなすうる精神的な支援が求められる時に移ってきたかと思います。今後長期的にとりくんでいかねばならぬこうした問題のためにも、この部会の設立が意味をもつと思います。現在、正義と平和協議会がかかわる脱原発関連の活動としては、まず社会司教委員会が中心となる、司教団メッセージをフォローし深めるための文書作成が進行中です。もう一つが、原発

問題に関心をもつカトリック者をつなげるネットワークづくりという課題です。

「平和のための脱核部会」は、主に後者にかかわることになります。各地で脱原発に関心を寄せ、また活動している個人やグループを「脱原発ネットワーク」として緩やかにつないでいくことができればと思います。両方の課題には、韓国カトリック教会の動きが大きな刺激となっています。韓国の人々は、さまざまなグループを連帯させることに長けているので、脱原発についても、司教団のもと、正義と平和協議会が中心となり、各教区・男女修道会などカトリック教会内での脱原発運動をたばねる「創造保全連帯」という組織がつけられています。原発建設やそのための送電塔建設に反対するばかりでなく、他宗教ともつながりながら、脱原発社会について学び、祈る運動を繰り広げています。隣接する両国は、もしどちらかで原発事故が起こったなら、被害を共有することになります。政治情勢が両国の関係を表面上疎遠にしている今こそ、教会という国境や民族を超えたつながりにおいて、互いに協力しあうことはたいせつなことでしょう。

福島原発事故は、人間の救いに必要な「神との和解」「人間相互の和解」「創造との和解」という三つの関係をすべて断ち切り、分解させる出来事でした。人類が自ら招いたこの苦渋の経験をいかに受けとめ、回心の糧にするか、未曾有の原発事故の当事者として世界に答えていく道をこの部会を通して探していければと思います。

(部会長 光延一郎神父)

メッセージ、ご意見を  
おねがいたします！